

Autodesk MapGuide® Enterprise 2010 Update 2 Readme

Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 2 をダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。

この Readme には、この更新プログラムのインストールおよび使用に関する最新の情報が記載されています。お使いの製品に更新プログラムを適用する前に、この Readme 全体をお読みいただくことを強くお勧めします。簡単に参照できるよう、Readme をハードドライブに保存するか、印刷出力してください。

この Readme には次のセクションがあります。

- 更新プログラムのインストール対象製品
- Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 2 のインストール
- この更新プログラムで解決された問題

更新プログラムのインストール対象製品

Update 2 は、サポート対象のすべてのオペレーティング システムで実行される、すべての言語バージョンの Autodesk MapGuide Enterprise 2010(以下 MGE 2010) に対応しています。 Update 2 には Update 1 および Update 1b でリリースされたすべての更新が含まれています。この更新プログラムは次のバージョンの MGE 2010 に対応しています: MGE 2010、MGE 2010 Update 1、MGE 2010 Update 1b。

注意 ビルド番号が 2.1.0.3701 より大きい製品をお使いのお客様は、リポジトリをバックアップし、現在のビルドをアンインストールし、MGE 2010 をインストールし、Update 2 を適用して、インストールされるリポジトリのフォルダをバックアップと置き換える必要があります。アンインストールしてもリポジトリのフォルダは削除されませんが、安全のためバックアップをとります。

Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 2 のインストール

重要 Autodesk MapGuide Enterprise の更新プログラムをインストールする前に、すべてのアプリケーションを終了してください。MapGuide Server サービス、IIS/Apache、/Tomcat など、特に MapGuide に関連したサービスは必ず終了してください。

Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 2 をインストールしても、リポジトリやデータは変更されません。管理者は現在のインストールとリポジトリをバックアップするようにしてください。一般に、管理者やユーザが変更したファイルは上書きされることがあります。Windows の更新プログラムでは、ファイルのサブセットだけが更新されます。Linux 用の更新プログラムはフルインストールです。

製品サポートの Web サイトから、ご使用のオペレーティング システムに対応する更新ファイルをダウンロードします。更新ファイルをコンピュータの一時フォルダにコピーし、次の手順でファイルを実行します。

Windows にインストールする

Update 2 を Windows にインストールしても、設定ファイルは変更されません。

Server/Web コンポーネントを Windows にインストールする

- 1 次の Update 2 ファイルをダウンロードします。
 - *AutodeskMapGuideEnterprise2010ServerUpdate2.exe*
 - *AutodeskMapGuideEnterprise2010WebServerExtensionsUpdate2.exe*
- 2 Autodesk MapGuide Enterprise 2010 サービスおよび Web サーバのサービスを停止します。
- 3 手順 1 でダウンロードした Update 2 ファイルを実行します。

注意 Update 1 をインストールしていない場合、*AutodeskMapGuideEnterpriseWebServerExtensionsUpdate2.exe* を実行する前に、*AutodeskMapGuideEnterprise2010WebServerExtensionsUpdate1.exe* をダウンロードして適用してください。
AutodeskMapGuideEnterprise2010WebServerExtensionsUpdate1.exe (Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 1 for Window) は、ダウンロード([hyperlink -- http://www.autodesk.co.jp/mapguide-dl](http://www.autodesk.co.jp/mapguide-dl)) ページの Service Pack & パッチから、ダウンロードできます。

注意 IIS を実行しているユーザは、新しい Application Pool を作成(デフォルトの設定)して、Mapagent 仮想フォルダをこのプールに割り当てることでさらに安定性が増す可能性があります。こうすることで Mapagent を PHP または .NET ビューアから分離できます。

- 4 サービスを再起動し、MapGuide Enterprise サイトにアクセスして問題がないことを確認します。

Linux にインストールする

Update 2 をインストールすると、一部の設定ファイルが変更されます。一般に、これらのファイルは管理者が直接変更したか、Site Administrator で変更されたものです。次のファイルはバックアップして、インストール終了後に元に戻す必要があります。

- *opt/Autodesk/mapguideenterprise2010/server/bin/serverconfig.ini*
- *opt/Autodesk/mapguideenterprise2010/server/wfs/ogcwfsservice.config.awd* (このファイルは、通常は Site Administrator で変更されます。)
- *opt/Autodesk/mapguideenterprise2010/server/wms/ogcwmservice.config.awd* (このファイルは、通常は Site Administrator で変更されます。)
- *opt/Autodesk/mapguideenterprise2010/webserverextensions/apache2/conf/httpd.conf*
- *opt/Autodesk/mapguideenterprise2010/webserverextensions/apache2/conf/mapguide.conf*
- *opt/Autodesk/mapguideenterprise2010/webserverextensions/php/lib/php.ini*

/www フォルダ内のファイルのように、変更されている、またはインストール フォルダに追加されている可能性があるファイルが他にあれば、バックアップしてください。

Server/Web/FDO コンポーネントを Linux にインストールする

- 5 以下の Update 2 のファイル を /tmp にダウンロードします:

- *mapguideenterprise2010-server-2.1.0.4102-1.i386-rpm.bin*
- *mapguideenterprise2010-webextension-2.1.0.4102-1.i386-rpm.bin*
- *fdo-3.4.0.62.tgz*

注意 お使いの言語(ドイツ語、日本語、フランス語など)に対応した Server と Web Extension の更新ファイルをダウンロードし、インストールしてください。たとえば、ドイツ語バージョンの MapGuide Enterprise をお使いの場合は、フ

ファイル *mapguide enterprise2010deu-server-2* をダウンロードする必要があります。
1.0.4102-1.i386.rpm および
mapguideenterprise2010deu-webextension-2. 1.0.4102-1.i386.rpm. FDO 更新
ファイルはどの言語にも対応しています。

- 6 MapGuide Enterprise 2010 サービス、Apache サーバーおよび Tomcat サーバ (該当する場合) を停止させます。
- 7 Backup リポジトリのフォルダを
`/opt/Autodesk/mapguideenterprise2010/server/`フォルダから `/tmp` のような Autodesk のサブディレクトリ以外のフォルダへバックアップします。新しくインストールしても現在のリポジトリは上書きされませんが、安全のためバックアップをとります。
- 8 次のコマンドを実行して、インストールされた MGE のバージョンを確認します:

```
rpm -qa | grep mapguide
```
- 9 次のコマンドを実行して、MapGuide 2010 Web Extensions をアンインストールします:

```
rpm -e mapguideenterprise2010-webextension-2.1.0.3701-1
```
- 10 次のコマンドを実行して、MapGuide 2010 Server をアンインストールします:

```
rpm -e mapguideenterprise2010-server-2.1.0.3701-1
```

必要に応じて、上記のバージョンを変更します
- 11 `/usr/local/fdo-3.4.0` に移動して、次のコマンドを実行して FDO をアンインストールします:

```
./uninstall
```
- 12 新しいインストールのファイルがコピーされたフォルダに移動します。
- 13 次のコマンドを実行して、FDO のファイルを抽出します:

```
t ar -xzvf fdo-3.4.0.62.tgz
```

- 14 fdo-3.4.0.6201 フォルダに移動して、 次のコマンドを実行します:

```
./install
```

- 15 Server および Web Extension の拡張ファイルを抽出するために、次のコマンドを実行します:

```
./mapguideenterprise2010-server-2.1.0.4102-1.i386-rpm.bin
```

```
./mapguideenterprise2010-webextension-2.1.0.4102-1.i386-rpm.bin
```

ライセンス契約の受諾を求められたら、[はい] と入力します。

- 16 Server をインストールするために、以下を実行します:

```
rpm -ivh mapguideenterprise2010-server-2.1.0.4202-1.i386.rpm
```

- 17 Web Extensions をインストールするために、以下を実行します:

```
rpm -ivh mapguideenterprise2010-webextension-2.1.0.4202-1.i386.rpm
```

- 18 手順 1 で説明したように上書きされた設定ファイルを置き換えます。

- 19 サービスを再起動し、MapGuide Enterprise サイトにアクセスして問題がないことを確認します。

Autodesk MapGuide Studio Update 2 をインストールする

Autodesk MapGuide Studio は Windows へのみインストールできます。

MapGuide Studio Update 2 をインストールする

- 1 次の Update 2 ファイルを一時フォルダにダウンロードします。

AutodeskMapGuideStudio2010Update 2.exe

- 2 MapGuide Studio 2010 を終了します。
- 3 手順 1 でダウンロードした更新ファイルを実行します。このインストールを実行するには、管理者権限かパワー ユーザ権限が必要になる場合があります。
- 4 MapGuide Studio 2010 を起動します。

注意 MapGuide Studio 2010 は英語版でのみ提供されているため、言語別の更新ファイルはありません。英語版の更新ファイルをご利用ください。

この更新プログラムで解決された問題

Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 2 には以下の拡張が含まれています:

- (tract ticket 1173) 新しく Performance Log が追加されました。MGE Server プロセスが使用するメモリの問題の特定をサポートするために、Update 2 で Performance log が追加されました。以下のセクションを serverconfig.ini に追加すると、ログが有効になります。Interval パラメータ (単位は秒) はサーバの実行時の値を取得するためのサンプリング期間です。出力は GetSiteInfo API による出力と同様です。.

```
[PerformanceLogProperties]
#
*****
*****
# P E R F O R M A N C E L O G
#
# プロパティ名の説明
#
-----
-----
# Enabled 0 = ログ無効、 1 =ログ有効
# Filename ログファイルの名前
# Parameters ログのパラメータ
# Interval サーバが
# パフォーマンスに関する情報をログに書き込む時間間隔
#
*****
*****
Interval = 300
Parameters =
    ADMINOPQCOUNT, CLIENTOPQCOUNT, SITEOPQCOUNT, AVGOPTIME, CPU,
    WORKINGSET, VIRTUALMEMORY, TOTALOPTIME, TOTALACTIVECONNECTI
    ONS, TOTALCONNECTIONS, TOTALPROCESSEDOP, TOTALRECEIVEDOP, UP
    TIME, CACHESIZE, CACHEDROPPEDENTRIES
Filename = Performance.log
Enabled = 1
```

注意 上記のログは、Site Admin インタフェースでは対応していません。
Enabled = 0 と設定すると、ログを無効にできます。

- (1254559) Basic Weblayout の再ロードの際に、2 台のサーバーの間ではロード バランスが失敗しました。ロード バランスを行うと、最初の接続に失敗した応答のないサーバーが削除されるようになりました。再接続要求期間を設定し、サーバーがオンラインに戻ったとき、サーバーのラウンド ロビンポーリングに含まれます。接続に失敗した場合は、ブラウザユーザは、新しいサーバーを見つけるためにセッションを更新する必要があります。
- -MgRasterPropertyDefinition に、他の ProprtyDefinition クラスと同等にするための 2 つの新しいメソッド、GetSpatialContext および SetSpatialContext が用意されました。

Autodesk MapGuide Enterprise 2010 Update 2 では、以下の問題を解決していません:

- (1219841.01) コマンドプロンプトから netstat を使用して照会したときに、TCP/IP 接続が必ずしもリリースされず、CLOSE_WAIT のステータスのままになりました。その結果、"接続を確立できません"というエラーになる場合があります。
- (trac ticket 1131) サーバーが 1 台しかない場合は、ロード バランスの再試行時間を 1 秒に改定しました。
- (trac ticket 1107) MgSpatialContextReader が正しく終了せず、選択によっては問題の原因になることがありました。
- (RFC 79) マップの初期ロード時間が長くかかっていました。
- (trac ticket 1172) AJAX Viewer の凡例のパフォーマンスがよくありませんでした。

- (1303042) AJAX Viewer および JAVA API によって "リソースが見つかりません" のエラーが発生していました。

注意 管理者は、既存の Tomcat Catalina の作業フォルダを削除して、古い mapviewerjava ページのキャッシュされたバージョンを削除しなければなりません。Web Extensions をアップグレードするために、Tomcat サービスを停止している間に、次の場所にある *mapguide2010* フォルダを削除します `..TomcatworkCatalinalocalhost` (Windows または Linux のどちらでも。)

- (1255324) AJAX Viewer のクロス サイト スクリプティングの脆弱性が修正されました。
- (1278107) 負荷が大きい場合、SHP ファイルが Linux でセグメンテーション違反が発生させることがあります。
- (1318857) Update 1b をインストールした後に、セッションログからIPとクライアント情報が欠落しました。
- (1311966) 例外が発生すると、Autodesk Oracle Provider がメモリ リークしました。
- (1319442) Tomcat で、AJAX Viewer および JAVA を使用するとメモリ リークになりました。
- (1284116) ECW または TIFF ファイルのフォルダにアクセスすると、MGE サーバーがロックするか、未分類の例外が発生しました。
- 基本画層のマップのためにタイルキャッシュを生成するプロセスは、MGE サーバーをロックさせるか、未分類の例外を発生させました。
- (1265775) MGE 2010 Update 1 の DWF をプロットした後の凡例で、画層アイコンの描画が小さすぎました。

- (1228001) 外部サーバーへの WMS 接続が ローカルの座標系に対して間違っ
た境界ボックスを設定しました。

注意 Autodesk MapGuide Studio の接続の URL に必ず version=1.x.x のパラメータを含めてください。

- (1228006) 座標系の不要な変換のために、WMS の再投影のオフセットがローカルの座標系に間違って適用されました。

注意 外部 WMS のソースは正しい座標系の確認に config.xml を必要とする場合があります。詳細に関しては http://sandbox.mapguide.com/index.php/Web_Mapping_Service をご覧ください。

- (1270442) ネストした MapGuide Reader は、プロバイダがマルチスレッドである場合は、別の FDO 接続を使用しました。
- (1254560) -Site Admin の操作にロード バランスが適用されない: すべてのロード バランス サーバ群のリストを提供するための操作が強化されました。
- (1254467) Linux 上で Autodesk ラスター プロバイダを使用するには、大量のメモリを消費する場合があります、結果として MapGuide サーバの処理に失敗していました。
- (1219841.01) TCP/IP 接続は常にリリースされていたわけではなく、時々無効なストリーム ヘッダのエラーが発生していました。
- (1242611) 多数の画像を持つ管理されていないデータやフォルダへの、ラスタ接続は、Studio で何度も保存する必要があり、失敗かタイムアウトになっていました。Studio 内の接続エディタは、基本となる config.xml が生成されるまでタイムアウトになることはなくなりました。

注意 マスターイメージを詳述する、基本となる config.xml ドキュメントは有効でなければなりません。このユーザに必ず各ラスタ-接続を開かせるために、テスト接続を実行し、成功が表示されたら保存します。

- (1211043) Linux 上で MGE 2010 Server に対するバッファの作成は、null エラーにより失敗していました。
- (1204570.02) ラスタ-イメージは、タイルマップでは動作しないようになりました。
- (1015380.01) 識別プロパティタイプに問題があったため、一部の FDO フィーチャソースの検索に失敗することがありました。
- フレキシブル Web レイアウトの検索コマンドは、タスク ペインから実行すると正しく実行されませんでした。
- (1177389.01) アラビア語とヘブライ語 を含む ラベルは正しく表示されませんでした。
- (1190527) 道路データ上のラベルの表示が一貫性を欠いていました。
- (1212433) Autodesk Raster Provider を使用している場合、Linux で Tiff カタログに正しくアクセスできませんでした。
- (1212436) Autodesk Raster Provider では、細いストリップ イメージが正しくレンダリングされませんでした。
- (1212641.02) Linux サーバ上の Ajax viewer で日本語フォントが使用されていると、フィーチャラベルが表示されませんでした。
- (1204661) シンボル ライブラリに多数のシンボルを使用すると、エラーが発生することがありました。
- (1144842.01) ポイント画層のスタイル設定時に [シンボル ライブラリ] を選択すると、エラーが発生することがありました。

- シンボルライブラリエディタ、シンボルプレビュー、およびマップの凡例では、シンボル表示が正しくありませんでした。
- (1225147) Autodesk MapGuide Studio 2010 では、[Allow other labels to obscure feature symbols on this layer] オプションがありませんでした。
- Windows 2003 Server マシン上で Oracle 10g データとともに Autodesk MapGuide Enterprise を使用すると、メモリが大量に消費されました。
- (1214549) Linux サーバでは、データ要求時のメモリ リークによって、サーバのメモリ不足が予期せずに発生しました。
- (1215506) 選択セットの要求によって、メモリが大量に消費されました。
- (1224465) MapGuide Server は、大きなスキーマを備えた Oracle データベースにアクセスすると、メモリ不足になりました。
- (1220854) 座標系を変換すると CPU の利用が制限され、複数の人がシステムを同時に使用できませんでした。
- (1236282) *Fusion の Common.php* および PHP API の *common.php* は、`FormatMessage` で間違った関数呼び出しを使用しているため、例外が正しく発生しませんでした。
- ファイルの接続が解放されると、ラスタ イメージに予期しない結果が生じました。
- (1198689) 高度なログ機能を有効にすると、警告エラー メッセージが表示されました。
- (1173929) 空間インデックスのエラーのため、一部の古い SDF ファイルが開けませんでした。
- (1200560) FDO WFS プロバイダは、サーバからすべてのフィーチャ クラスを取得しませんでした。

- (1202424) SQL Server プロバイダに、null ジオメトリが存在すると、予期しない結果が生じました。
- Oracle Spatial プロバイダでは、ジオメトリに null の z 高度座標値が存在すると、すべてのフィーチャが表示されませんでした。
- (Open Source Ticket #1036) SDF ファイルを Oracle フィーチャ クラスに結合しても、機能しませんでした。

Copyright © 2010 Autodesk, Inc.